



「守りながら
変わり続けるまち
伊豆市」

令和8年度 当初予算の概要

1 予算の規模

全会計

(単位:百万円、%)

区分	R8当初	R7当初	増減	伸率
一般会計	21,669	21,562	107	0.5
特別会計	8,379	8,267	112	1.4
企業会計	2,804	2,533	271	10.7
合計	32,852	32,362	490	1.5

厳しいコスト増の中、必要経費を見極め
前年度と同規模の予算を維持



1-1 歳入の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R8当初 A	R7当初 A	増減 A-B
自主財源	市税	4,238	4,237	1
	寄附金	1,513	1,515	▲2
	繰入金	2,380	1,927	453
	その他	1,190	1,175	15
依存財源	地方交付税	6,250	6,064	186
	国庫支出金	2,168	2,428	▲260
	県支出金	1,162	1,196	▲34
	市債	1,298	1,609	▲311
	交付金等	1,470	1,411	59
合計		21,669	21,562	107

【市税】 +100万円

個人所得増額見込による個人市民税の増

【繰入金】 +4億5,300万円

財政調整基金繰入金の増

【地方交付税】 +1億8,600万円

国の地方財政対策による普通交付税の増

【国庫支出金】 ▲2億5,900万円

ひなた公園整備事業、基幹システム標準化業務の完了に伴う減

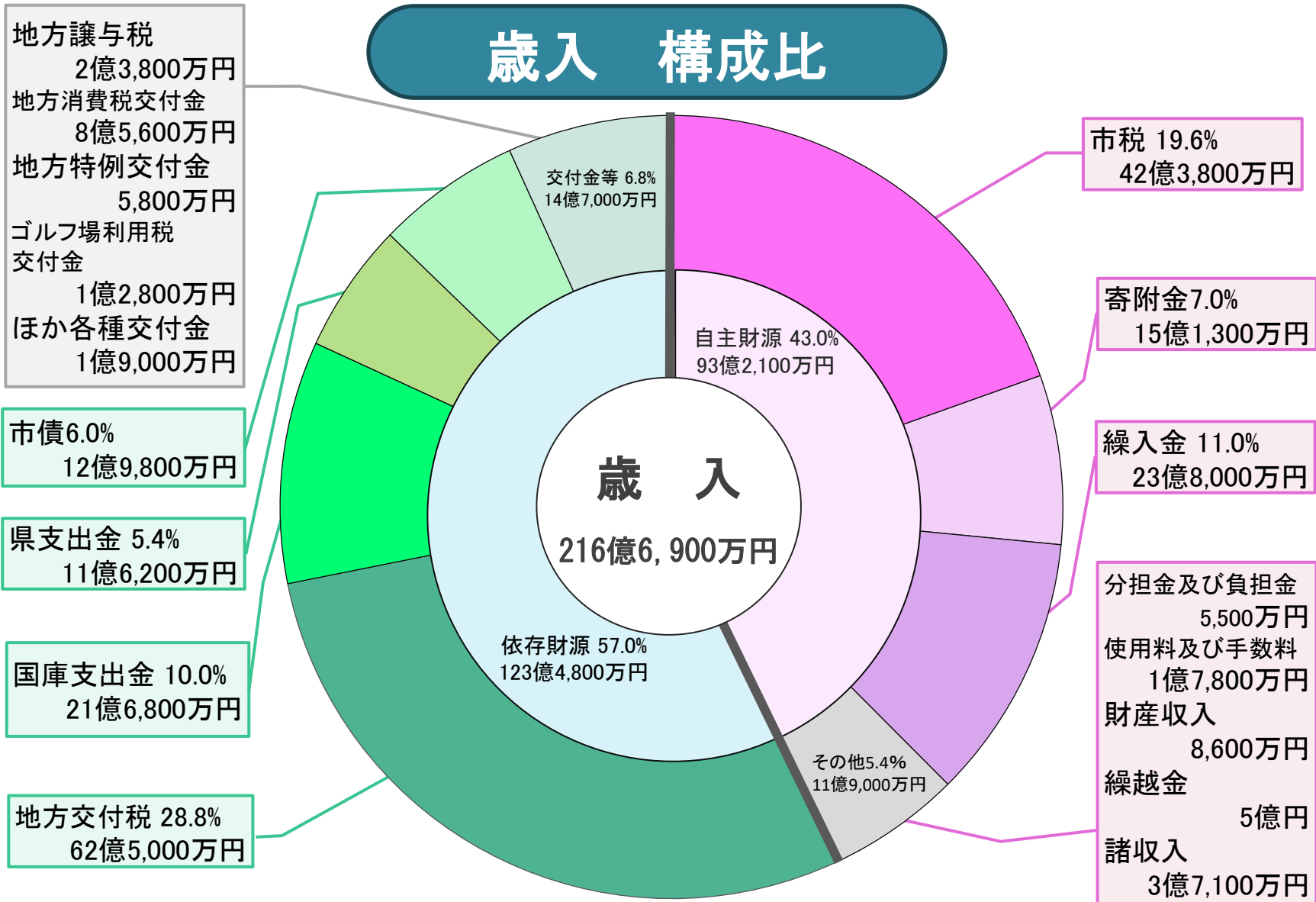
【市債】 ▲3億1,100万円

ひなた公園整備事業や危機管理センター整備事業完了に伴う減

※表示単位未満を四捨五入しているため端数処理の都合上、合計と一致しない場合があります。



歳入 構成比



※表示単位未満を四捨五入しているため端数処理の都合上、合計と一致しない場合があります。



1-2 歳出の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R8当初 A	R7当初 A	増減 A-B
経常的経費	人件費	3,510	3,337	173
	扶助費	2,763	2,602	161
	公債費	2,540	2,246	294
	その他(経常的経費)	7,775	7,849	▲74
投資的経費	補助事業	349	795	▲446
	単独事業	1,833	1,928	▲95
	災害復旧費	1	1	0
その他		2,898	2,804	94
合計		21,669	21,562	107

※表示単位未満を四捨五入しているため端数処理の都合上、合計と一致しない場合があります。

【人件費】 +1億7,300万円

人事院勧告に伴う職員給与や諸手当の増

【扶助費】 +1億6,100万円

障害福祉サービス費等の増

【公債費】 +2億9,400万円

令和4年度実施事業の財源とした市債の元金償還の開始に伴う増

【その他(経常的経費)】▲7,400万円

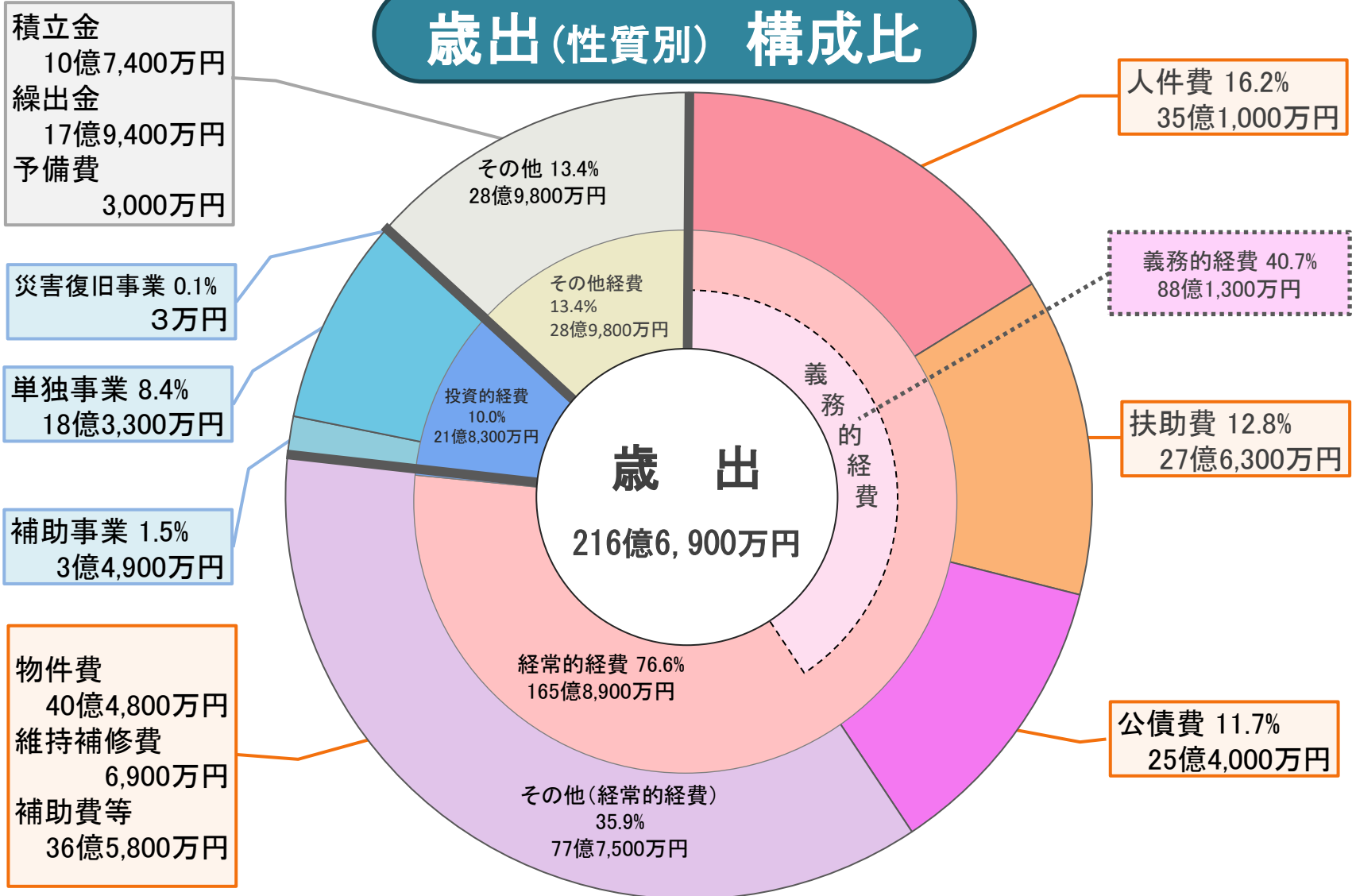
<物件費>自治体システム標準化に係る委託料やGIGAスクール端末更新費用の減
<補助費等>施設の解体に伴う伊豆市沼津市衛生施設組合負担金の増

【投資的経費】 ▲5億4,000万円

<補助事業>ひなた公園整備事業の減
<単独事業>危機管理センター整備事業の完了による減



歳出(性質別) 構成比



※表示単位未満を四捨五入しているため端数処理の都合上、合計と一致しない場合があります。



2 重点事業

今後も魅力ある「伊豆市」として成長していくため、歴史、文化、市民の生命、財産などを大切に守ると同時に時代の変化に柔軟に対応できるまちを目指す

「守りながら変わり続ける」伊豆市プロジェクト

守る

◆ひなた公園・危機管理

センター管理事業 5,713万円

災害死者ゼロを目指して整備した防災公園と災害対策活動拠点の供用開始

◆耐震改修促進事業 6,901万円

住宅の耐震化や倒壊による災害防止を促進するための支援

◆サイクルブランド向上事業

1,426万円

自転車活用推進計画の策定やアジア・アジアパラ2026大会開催に向けた機運醸成

・デジタルアーカイブ導入事業 600万円

長期保存と活用のため地域の貴重な歴史資料などデジタル化

・新たな観光振興財源検討事業

866万円

新たな観光財源の導入に向けた検討

・みんなの夢★応援補助金 300万円

クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し市民が提案する活動を支援

変わる

●中伊豆小学校移転整備事業

9億3,140万円

中伊豆中学校跡地に新中伊豆小学校を移転整備

●修善寺地区小学校再編検討事業

2,992万円

修善寺地区の小学校再編に向けた検討

●移住定住促進事業 7,855万円

移住ワンストップ窓口の設置など相談者の利便性向上等を図り移住定住を促進

伊豆市の未来に、今、投資する予算



第3次総合計画の体系

重点目標

政策

1. 次代を担う人材を心豊かに育むまち
(子育て・教育)

子 育 て

教 育

2. 安全・安心で心地よく暮らせるまち
(安全・安心)

健康医療・福祉

防 災

防 犯

3. 人が集い活力あふれるまち(地域経済)

観 光

地 域 産 業

4. 人と自然が調和した魅力あふれるまち(生活環境)

地 域 力

地域インフラ

環 境

5. 将来にわたって持続可能なまち(行財政運営)

行 政 経 営

参 画・協 働



重点目標1 次代を担う人材を心豊かに育むまち

子育て

出会い・婚活支援事業 385万円

- ・婚活イベントの開催や、1年成婚を目指す結婚相談所への入会活動を支援
- ・「ふじのくに出会いサポートセンター」へ会員登録に係る費用の一部を補助

【拡充】育てて育つ事業 1,760万円

- ・【拡充】団体等の活動に対する「ぎゅぎゅっと子育て応援補助金」の創設
- ・伊豆っ子未来応援金の交付や子育て情報誌「family izu」の発行

【新規】子育て施設環境整備事業 998万円

- ・子ども子育て支援事業債を活用し、こども園にルーフテントや空調設備を更新整備



教育

【新規】中伊豆小学校移転整備事業 9億3,140万円

- ・統合により廃校となった中伊豆中学校に、中伊豆小学校を移転建替するため整備事業を実施（令和10年度開校予定）

【拡充】学びの探究向上事業 942万円

- ・東京大学と連携協定による学習支援や慶応大学と連携協定によるXR防災教育の実施
- ・小中学生向けプログラミング教室、こども園・児童待合所ICT学習支援の開催
- ・【拡充】子ども自身の興味関心を広げる新たな教材の導入

【新規】デジタルアーカイブ導入事業 600万円

- ・市内に存在する貴重な地域の歴史や災害など資料をデジタル化し、保存性を確保するとともに、学習教材として活用できる環境を整備



▲ 新中伊豆小学校 完成イメージ



重点目標2 安全・安心で心地よく暮らせるまち

健康医療・福祉

【新規】特定健診事業 366万円(国民健康保険特別会計)

・特定健診の受診率向上のため、AIを活用した受診勧奨を実施

【拡充】げんきプロジェクト 331万円

・【拡充】健康寿命の延伸や医療費の削減のため、細胞の老化原因となっている糖化度を測定する機器を新たに導入



防 災

【新規】ひなた公園、危機管理センター管理事業 5,713万円

・災害死者ゼロを目指し日向地区に整備した、防災公園「ひなた公園」および災害対策拠点「危機管理センター」の供用を開始

【新規】ハザードマップ作成事業 2,100万円

・洪水浸水想定区域のハザードマップの作成や火山災害警戒地域の防災ハザードマップを新たに作成

【新規】津波対策事業 100万円

・津波浸水区域から防災公園(ひなた公園)への避難を想定した訓練の実施



▲「ひなた公園」と「危機管理センター」の全景

防 犯

交通安全推進事業 1,208万円

・地域、関係機関及び各団体等と連携した交通指導や交通安全啓発を実施



重点目標3 人が集い活力あふれるまち

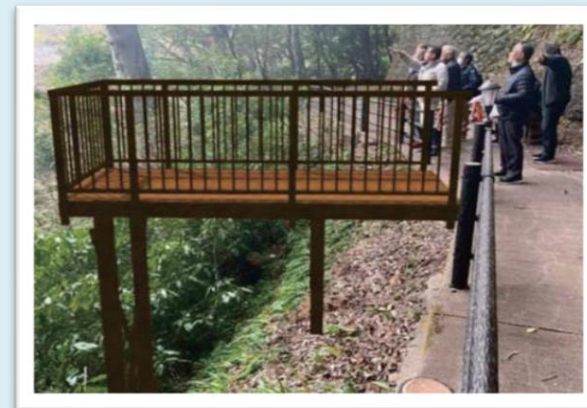
観 光

新たな観光振興財源検討事業 866万円

・継続的な観光施策の実施のため、新たな観光財源の導入を検討

ふるさと観光地魅力化事業 5,500万円

・ふるさと納税を活用し、湯ヶ島地区の湯道改修工事や、中伊豆地区の大見城址整備に向けた測量設計を実施



▲湯道 展望台 完成イメージ

地域産業

【拡充】森林環境譲与税活用事業 7,680万円

・【新規】修善寺地区の鹿山公園の環境整備事業の実施
・森林整備事業や市産材活用促進事業のほか、未就学児童や市内小中高生への森林環境教育や新生児へ市産材を活用した祝い品の配布などを実施

【拡充】地域おこし協力隊推進事業 1億881万円

・地域の活性化や産業振興を図るため、地域おこし協力隊制度を活用
・地域産業振興や農林業に関わる新たな隊員を採用



▲森林環境税活用事業ロゴマーク



重点目標4 人と自然が調和した魅力あふれるまち

地域力

【拡充】移住定住促進事業 7,855万円

- ・【拡充】移住相談コーディネーターの採用や市役所内に移住相談ワンストップ窓口を設置することで、相談者の利便性向上とともに移住定住促進
- ・移住する子育て世帯の新築や増改築に対する移住定住促進補助金を交付
- ・お試し住宅の運営・空き家バンクへの登録に対する補助など各種支援を実施

【新規】みんなの夢★応援補助金 300万円

- ・クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、市民や団体等が提案した事業に対し補助金を交付



▲移住相談会の様子

地域インフラ

【拡充】地域公共交通推進事業 1億5,997万円

- ・【拡充】運行路線の適正化や新たな移動手段の検討
- ・生活路線運行支援のため補助や高齢者割引乗車証(いきいきパス)の購入補助、高校生通学定期券の購入補助など利用促進事業の実施

【新規】修善寺駅前県道拡幅関連事業 5,774万円

- ・県道伊東修善寺線駅前地区の渋滞解消に向けた関連事業の実施



環境

カーボンニュートラル推進事業 232万円

- ・住宅用蓄電池システム設置補助や宅配ボックス導入助成などを実施

【新規】有害鳥獣被害対策事業 80万円

- ・有害鳥獣の捕獲報告などについて捕獲確認アプリを導入しICT化を推進



重点目標5 将来にわたって持続可能なまち

行政経営

ふるさと納税促進事業 7億4,166万円

- ・ふるさと納税寄付額の更なる増加を図るため、返礼品の新規開拓やウェブサイト上での返礼品プロモーションを強化

【新規】業務効率化事業 1,263万円

- ・生成AIのさらなる活用に向けた職員研修会の開催
- ・生活保護ケースワーカーの業務効率化のためのAIを活用した支援サービスの導入
- ・教員などの業務効率化のための家庭環境調査アプリの導入



参画・協働

地域づくり推進事業 9,292万円

- ・地域の課題解決や活動を支援し地域力の向上を図るため、地域づくり協議会交付金を交付



3 物価高騰対策事業 (重点支援地方交付金 活用事業)

エネルギー・食料品などの物価高騰の影響を受ける市民等に対し支援事業を実施

令和7年度繰越事業



令和8年度事業

1. 消費下支え等を通じた生活者支援

給付型商品券(いずっち券)発行事業 2億9,209万円

- ・物価高騰の影響を受ける市民生活を支援するため、市民に市内の小売店、飲食店等で利用できる一人当たり1万円の商品券を発行

令和8年度事業

2. 物価高騰に伴う子育て世帯支援

学生生活応援事業 600万円

- ・物価の高騰によって経済的影響を受けた伊豆市出身で市外在住の学生に対して特産品など応援物資を支給

小中学校給食費負担軽減事業 2,286万円

- ・食材費の物価上昇分を市が負担することにより、給食費の値上げを抑制し子育て世代の負担を軽減

3. 省エネ家電等への買い替え促進による生活者支援

省エネ家電購入費補助事業 2,100万円

- ・地球温暖化対策の推進及び家庭における電気代の負担軽減を図ることを目的に省エネ家電購入費用の一部を補助

4. その他

公共施設LED化事業 1,870万円

- ・市民等が利用する公共施設をLED化することにより、電気料金高騰の影響を緩和し利用者への利用料の負担を軽減

